

報道関係各位

2024年7月9日

株式会社イズミ

ハンドボール新リーグ「リーグH（エイチ）」参加 およびチーム名称変更のお知らせ

株式会社イズミ（本社：広島市東区、代表取締役社長：山西 泰明、以下「当社」）が運営する女子ハンドボールチーム イズミメイプルレッズ（以下「当チーム」）は、本年9月に開幕するハンドボール新リーグ「リーグH（エイチ）」に参加することをお知らせいたします。

1976年9月の開幕から第48回大会まで開催した日本ハンドボールリーグは、新たに「リーグH（エイチ）」として生まれ変わり、世界で戦えるハンドボールリーグ、アジアNo.1、世界トップレベルのリーグとなることを目指してまいります。

新リーグの名称「リーグH（エイチ）」は、地域密着を意味する「ホーム」、希望の「ホーム」の頭文字のHから取り、「英知（エイチ）」を集め、成長するという意味も込められており、リーグのコンセプトのひとつに「CONTRIBUTION～小学生から大学生まで切れ目のない次世代人材育成とチームと地域のつながりを通じた地域貢献の実現～」を掲げております。

当チームでは新リーグビジョンに賛同し、新リーグ参加に伴い、ホームタウンを引き続き広島市に置き、8月よりチーム名称を「イズミメイプルレッズ広島」に変更いたします。

これまで以上にホームタウンと密接に連携し、ハンドボールを通じて、地域に“夢”と“活力”を与え、社会の活性化に貢献することを目指し活動してまいります。引き続き温かいご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

<新チーム名称>

イズミメイプルレッズ広島

（英字表記：IZUMI MAPLEREDS HIROSHIMA）



<新リーグ「リーグH（エイチ）」概要（抜粋）>

■新たな取り組み

- ・レギュラーシーズン（女子）
 - ▷試合数の増加（2回戦総当たりから2024-25シーズンから3回戦総当たりへ）
- ・オールスター戦・カップ戦
 - ▷オールスター戦：外国籍選手を含めたスター選手による魅力ある試合の開催
 - ▷カップ戦：若手選手など出場機会の少ない選手を積極的に起用

■チーム体制

- ・独立運営：2027-28シーズンまでに独立法人を設置
 経営の効率化や収益力の向上等を通じて持続可能性を確保
- ・プロ選手：統一契約書に基づく「プロ選手」の数を段階的に引き上げ
- ・アリーナ要件：1,500名以上のホームアリーナを確保

■リーグHにおけるチームステータス達成表

	2024-25シーズン (新シーズン1年目)	2025-26シーズン (新シーズン2年目)	2026-27シーズン (新シーズン3年目)	2027-28シーズン (新シーズン4年目)	2028-29シーズン (新シーズン5年目)
理念賛同	A(*)	—	—	—	—
地域名要件(チーム名)	A(*)	—	—	—	—
運営体制(独立法人設置)	B	B	B	A(*)	—
アリーナ(会場規模1,500名以上) (原則8割、やむを得ない事情がある場合には6割実施)	B	B	B	A(*)	—
集客要件	1,000名 B	1,000名 B	1,500名 A	1,500名 —	2,000名 A
財務要件(黒字化)	B	B	A	—	—
支援書要件 (自治体・都道府県協会)	B	A(*)	—	—	—
次世代育成	U12 A	U12 —	U12 —	U12 —/U15 A	U12 —/U15 —
契約要件	プロ11名以上 B	プロ11名以上 B	プロ11名以上 A(*)	プロ11名以上 —	プロ16名以上 A(*)
事業要件(商標登録)	A	—	—	—	—

(注1)表中の「A」は、達成が必須のもの。仮に達成されていない項目がある場合には、当該項目について、チームが今後の達成見込みに係る計画書を策定し、リーグに提出。
 リーグは、当該計画書に基づきチームの取り扱いを協議する。「B」は、達成に向けた努力義務目標。

(注2)表中(*)とあるのは、当該シーズン開始年の9月まで(シーズン開始前まで)に達成することとする。(それ以外は、シーズン終了後までに達成)

※詳細は日本ハンドボールリーグHPをご参照ください

<https://japanhandballleague.jp/news/>

以上